様式１

令和８年度使用教科書選定理由書

【１　選定に係る基本方針】

県立　宮代　高等学校

「さとく　たゆまず　たくましく」という教育目標及び教育方針を掲げ、「生徒一人ひとりの『よさ』を伸ばし、次代をたくましく生き抜くための学力と規範意識を身に付けた人間を育てる」ことを目指す学校像としている。また、基礎学力の定着や基本的生活習慣の確立に課題を抱える生徒が多いため、次の３点を重点目標としている。

１　生徒一人ひとりに見合った学習環境を提供し、基礎学力を確実に向上させ、自ら考え、判断し、表現する力につなげる。

２　生徒一人ひとりの資質を把握し、個々に目標・目的を持たせ、規律ある学校生活を送らせる。

３　積極的な広報活動を行うとともに、保護者・地域・関係諸機関との連携を強化する。

さらに、「学校自己評価システムシート」や「教科における評価シート」を全教職員が共有することで、「とことん生徒の面倒を見る宮高」を実現すべく、生徒の指導にあたっている。

これを踏まえ、以下の点などに配慮しながら教科書選定を行う。

１　学習事項の復習や反復練習等を通して、学習意欲や学習習慣を確立させ、基礎学力を確実に向上させ、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせる。

２　教材教具の工夫や学習事項を活用した発展的な活動や多様な学習スタイルを研究し、「主体的対話的で深い学び」を起こす授業を展開する。

３　社会生活に不可欠な知識や技能を身に付けさせ、人間関係を築く上で必要なコミュニケーション能力の育成に努める。

４　授業と社会をつなぎ、学習に意味を持たせ、自己実現に向け努力する生徒の「やる気」を涵養する。

※　学習指導要領、学校教育目標、学校や学科の特色、生徒の実態等を踏まえて、学校としてどのような方針をもって教科書選定を行うかを示す。